（成果物Ⅰ）

令和３年度　東京都教職員研修センター　教員研究生　大島　裕史
「相手の思いを考えながら主体的に探究し、地域の身近な人と関わろうとする児童の育成」

小学校　総合的な学習の時間

相手の思いを考えながら、主体的に探究するために

－「児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」と「活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」に重点を置いた指導の工夫－

３年生は初めての探究学習になるけれど、どのようなポイントがあるのかな。

課題をもたせて、意欲を高めるには、どうしたらいいのだろう。

この資料を参考にして、総合的な学習の時間の指導力を高めましょう。

総合的な学習の時間の指導のポイント

◎　探究的な学習を通して、相手意識や目的意識をもたせることが大切！　そのためには、相手の視点をもって「児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」と「活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」の指導を工夫しましょう。

☆　児童が主体的に探究し、自己の生き方の考えを深める学習ができます。

【目次】

p. ２～３・・単元の指導計画のモデル
p. ４・・・・第一次：「児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」
p. ５・・・・第一次：「活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」
p. ６・・・・第二次：「児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」
p. ７・・・・第二次：「活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」
p. ８・・・・指導のポイントのまとめ・参考文献

単元の指導計画のモデル（第３学年「地域の高齢者との関わり」）

次	時	主な学習活動
第一次「高齢者の思いや願いを受け止め、高齢者との交流で大切なことを考えよう」	1	○「地域ニコニコ大作戦！」の意義を理解し、学習への意欲を高める。（p. ４を参照）
	2	○福祉施設の高齢者との交流会に向けた学習活動を考えながら、具体的な学習計画を立てる。（p. ４を参照）
	3	○体験活動を行い、高齢者の思いや願いなどを知る。
	4	○高齢者の思いや願いなどを知るために、福祉施設の高齢者へのインタビューの質問を考える。
	5	○福祉施設の高齢者にオンラインでインタビューを行い、高齢者の思いや願いなどを知る。
	6	○体験活動やインタビューで得た情報を基に、「高齢者と交流する上で大切なこと」を考える。（p. ５を参照）
第二次「高齢者の思いや願いを考えて、交流をしよう」	7	○「高齢者と交流する上で大切なこと」を踏まえ、福祉施設の高齢者との交流会の活動内容を考える。（p. ６を参照）
	8	○福祉施設の高齢者との交流会に必要な役割を考え、分担を決める。
	9 10	○高齢者の思いや願いなどを考えながら、交流会の準備をする。
	11	○福祉施設の高齢者と交流会をする。
	12	○「がんばったね会」で、交流会について振り返る。（p. ７を参照）
	13	○「身近な高齢者との関わり」の学習を振り返り、どのような力が身に付き、今後どのように生かすか考える。

（網掛け【黄色】）・・・「児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」

（網掛け【青色】）・・・「活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」

指導者の指導のポイント

地域の高齢者と関わることのよさを伝えて、「地域の高齢者の方々を、心からニコニコにするため。」という相手や目的を明確にしましょう。また、児童が学習計画に関して出した意見を価値付け、学習への意欲を引き出しましょう。

「高齢者の方々と交流する上でこれが大切だ。」という意見を、児童からたくさん引き出してまとめ、価値付けましょう。

児童が考えた「高齢者と交流する上で大切なこと」を意識するよう助言し、相手意識や目的意識を更に高めましょう。

「高齢者の方々の思いや願いなどを考えて、〇〇を工夫した。」など、児童が学習で相手の視点をもって頑張ったことを価値付けましょう。

期待される児童の姿

児童が「地域の高齢者の方々のためにがんばりたい。」、「心からニコニコにできるように、自分たちにできることを考えたい。」と相手意識や目的意識をもって学習計画を立てる姿が期待される。

「高齢者の方々と交流するときに〇〇が大切だと思う。」と高齢者の思いや願いなどを考えながら学習に取り組む姿が期待される。

交流会に向けて、「〇〇がいいと思う。」、「〇〇を工夫すればもっとよくなる。」など、児童が積極的に意見を出し、相手の思いを考えながら主体的に学習に取り組む姿が期待される。

児童が学習してきたことのよさを実感し、「もっと調べて、地域の高齢者の方々と関わってみたい。」、「地域の人と関わるときに、学んだことを生かしたい。」など、学習したことを生かして実生活でも地域の身近な人と関わろうとするに意欲が高まることが期待される。

「第一次：児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」

【第１～２時】

第１～２時の目標
「地域ニコニコ大作戦！」の意義を理解し、具体的な学習計画を立てる。

学習の見通しを明確にして、児童が相手意識や目的意識をもてるようにすることがポイント！

(1) 本時までに確認すること

確認事項	チェック
高齢者と交流することの大切さが児童に伝わるよう説明するために、発達段階に応じた言葉で内容を整理していますか。 【例】「『地域ニコニコ大作戦！』を学習すると、地域の高齢者の方々を心から笑顔にすることができ、自分も一緒にニコニコになれますよ。」	
児童が調べたいことや情報を収集するための方法を３個以上（目安）想定していますか。 【例】高齢者の方々のやりたいことなどをインタビューする。 高齢者の方々の生活の理解を深めるために体験活動をする。　など	

(2) 本時の展開

時間	○　主な学習活動	指導のポイント
導入15分	○　「地域ニコニコ大作戦！」を学習することのよさについて理解する。	地域の高齢者と交流することのよさを伝えて相手や目的を明確にし、児童の意欲を高めましょう。
展開70分	○　福祉施設の高齢者との交流会に関する条件（日時や場所、方法、相手等）を確認する。 ○　交流会に向けて、必要な学習活動を考え、学習計画を立てる。	交流会について、児童の疑問に答える時間を確保するとともに、児童が自分たちでできること、できないことを明確にしましょう。 交流会に向けて必要な学習活動について児童の意見を引き出しましょう。また、理由や根拠を問い返し、交流会に向けて相手意識、目的意識をもって考えていることを価値付けましょう。
まとめ5分	○　児童の意見をまとめた学習計画を振り返り、次時に体験活動をすることを確認する。	

「第一次：活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」

【第６時】

第６時の目標
体験活動やインタビュー等で得た情報を基に、「高齢者と交流する上で大切なこと」を考える。

児童が相手の視点をもって「具体的な活動を実施する上で大切なこと」を考えられるように準備することがポイント！

(1) 本時までに確認すること

確認事項	チェック
「高齢者の思いや願い」、「高齢者ができること、できないこと」などの視点を踏まえて、調べたことを分類する準備をしていますか。	
児童が活動の相手や目的を再確認して、活動する際に大切なことを考えられるように発問を設定していますか。 【例】「この学習の目的は何ですか。　相手は誰ですか。」 「高齢者の方々と交流する上で大切なことはどんなことだと思いますか。調べて分類したことを基に考えましょう。」　など	

(2) 本時の展開

時間	○　主な学習活動	指導のポイント
導入3分	○　本時のめあてを確認する。	児童の意見を引き出して、「高齢者と交流する上で大切なこと」に生かすように助言しましょう。
展開37分	○　体験活動やインタビュー等から気付いたことや考えたことを振り返る。 ○　情報を分類し、「高齢者と交流する上で大切なこと」を考える。	高齢者の視点をもって、児童の意見を分類しましょう。 児童が理由や根拠を示して発表できるように、助言しましょう。 児童の考えを深められるように、問い返しをしましょう。
まとめ5分	○　高齢者と交流する上で大切なことを振り返り、次時で具体的な交流の内容を決めることを確認する。	児童が考えた「高齢者と交流する上で大切なこと」を価値付け、今後の交流に向けて意識することを確認しましょう。

「第二次：児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」

【第７時】

第７時の目標
「高齢者と交流する上で大切なこと」を踏まえ、高齢者との交流会の活動内容を決める。

第一次で考えた「具体的な活動を実施する上で大切なこと」を意識付け、相手意識や目的意識を更に高めることがポイント！

(1) 本時までに確認すること

確認事項	チェック
第６時で考えた大切なことを、常に想起できるような工夫はしていますか。 【例】掲示物を作成する。計画表に記入する。一人１台端末に配信する。など	
活動の内容について、「高齢者の思いや願い」「高齢者ができること、できないこと」などを踏まえて、10 個以上（目安）想定していますか。【例】手遊び歌を一緒にやる。自分の学校のことを伝える。手紙を贈る。など	

(2) 本時の展開

時間	○　主な学習活動	指導のポイント
導入５分	○　「高齢者と交流する上で大切なこと」を振り返る。 ○　本時のめあてを確認する。	「高齢者と交流する上で大切なこと」を確認し、児童の相手意識や目的意識を更に高めましょう。
展開35分	○　高齢者との交流会の活動内容を具体的に立てる。	活動内容について、「高齢者と交流する上で大切なこと」を意識して考えていることを価値付けましょう。 交流会の活動内容について、児童が「高齢者の思いや願い」、「できること、できないこと」を考えて、深められるように、問い返しをしましょう。
まとめ５分	○　交流会について決まったことを振り返り、次時では役割分担をすることを確認する。	児童が「高齢者と交流する上で大切なこと」を意識して決めた活動内容を、価値付けましょう。

「第二次：活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」

【第 12 時】

第 12 時の目標
理由や根拠に基づいて、高齢者との交流会で頑張ったことを振り返る。

一人一人の児童が相手意識や目的意識をもって頑張ったことを価値付けることがポイント！

(1) 本時までに確認すること

確認事項	チェック
一人一人の児童が相手意識・目的意識をもって頑張ったことを想定し、価値付ける準備はしていますか。 【例】高齢者の方々が分かりやすいようにゆっくり話した。 高齢者の方々がニコニコになるために手遊びを取り入れた。など	
認め励ます視点で他者からフィードバックしてもらうために、事前に打ち合わせをしていますか。 【例】交流した相手と打ち合わせをする。話してもらう内容を確認する。など	

(2) 本時の展開

時間	○　主な学習活動	指導のポイント
導入３分	○　本時の学習の内容、めあてを確認する。	一人一人の児童が頑張ったことについて、児童の意見を十分に引き出し、価値付けましょう。 児童が自分の頑張ったことだけでなく、友達の頑張ったことも見付けるように、助言しましょう。
展開37分	○　「がんばったね会」で、交流会を振り返る。 ○　交流会で高齢者の方々をニコニコにできたかを振り返る。 ○　交流について、(福祉施設の）高齢者から感想を聞く。	児童が頑張ったことについて、理由や根拠を問い返しましょう。また、児童が相手意識や目的意識をもって頑張ったことを価値付けましょう。
まとめ５分	○　次時で本単元の振り返りを行うことを確認する。	学習活動について、交流した高齢者からフィードバックを受け、児童の自信につなげましょう。

児童が主体的に学習に取り組むための指導のポイント

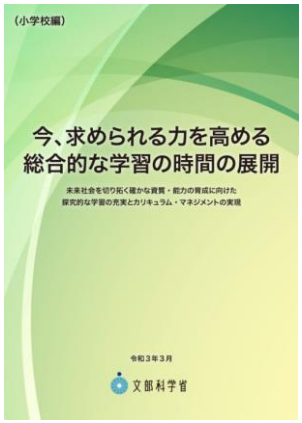
○「児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」では、相手や目的を確認して、相手意識・目的意識を高めましょう。

○「活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」では、児童の考えの理由や根拠を明確にして、相手や目的に照らして学びを価値付けしましょう。

☆　この二つの場面の指導を工夫して学習活動を行うことで、児童は主体的に探究し、自己の生き方の考えを深める学習ができます。

総合的な学習の時間を指導する際は、
これらを意識して指導してみてください。

総合的な学習の時間の指導に関する資料

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校編）
文部科学省	国立教育政策研究所
	

小学校　総合的な学習の時間
相手の思いを考えながら、主体的に探究するために
－「児童一人一人が自ら課題を立て、計画を立案する場面」と「活動の目的に照らして情報を整理・分析し、評価する場面」に重点を置いた指導の工夫－
令和４年３月
東京都教職員研修センター研修部教育開発課　三鷹市立第四小学校　主任教諭　大島　裕史